

遅れるインフラ整備
今後の方針は

その他の質問
○「選択と集中」による重要施策
○行財政改革

新生クラブ
代表 雪本 清浩

【答】道路舗装の更新については、現時点では長期的な計画は策定できていない。今後、緊急交通路の補修など個別の事案について、計画的に進めたい。



【問】財政状況が厳しさを増すなか、行政経営を続けられているのは、インフラや公共建築物の維持・更新を先送りしていることが大きいと思われる。

個人的に試算すると、上下水道管路の更新と道路の舗装だけで、少なくとも年間43億円必要である。今後どう改修するのか聞きたい。

【答】平成25年度にプロジェクトチームを立ち上げ、具体的な検討を進めていく。さらに、26年度には新組織を設置し、プロジェクトチームで検討した内容を踏まえ、27年度をめどに基本計画を策定していく。

厳しい財政状況

中学校給食の必要性は

青和クラブ
代表 稲田 悦治

【問】中学校給食は、「あればよい」という程度にしか感じられない。財政状況の厳しいなか、公約であるからといって、巨額の初期費用と毎年3億円以上の維持管理費を投入することが、市民にとって良いはずがないと考えるがどうか。

【答】教育委員会としては、市民にアンケート調査を行ったうえで、成長期である中学生には、安心・安全で栄養バランスのとれた昼食の提供



各会派の代表者が

総括質問

施設整備については、補助金を活用し、負担の軽減を図っている。

【問】公約であるからといって、施設の機能集約が十分な市民センターを2館同時に竣工することは、公共施設のあり方に関する基本方針と大きなずれがあると考えがどうか。

【答】新センターには、新たに生涯学習機能を設けるとともに、サービスセンターや図書館など複数の機能も加える。また、常盤地区に建設するセンターには、農業会館の機能も加える。なお、常盤青少年会館や青年の家は廃止する。これらのことは、基本方針案の考えに沿ったものと考えている。

災害時の生命線

安心・安全な水の確保を

その他の質問
○公有施設の老朽化対策
○PM2.5(微小粒子状物質)への対応

市民クラブ
代表 西村 芳徳

【問】東海・東南海・南海地震などにより、多くの負傷者が想定される。救護の最前線に立つ市民病院における、防災訓練の実施状況や、水・薬品・食料・毛布などの備蓄状況を聞きたい。

【答】防災訓練は昨年10月に行い、負傷者を重症度により判別し、診察や治療を行ったり、他の病院へ搬送する訓練を実施した。



民間病院の浄水施設

院内の売店業者から、シート、毛布、食糧などを援助してもらうことに合意している。

水の確保は重要であり、井戸水の利用や貯水槽の設置を検討していきたい。

また、市内卸業者との協力体制も整えている。食糧は、院内に入院患者用として3日分備蓄している。さらに、

国の経済対策の活用で
市民目線のまちづくりを

自民党
代表 山田 幸夫

【問】老朽化したインフラ整備が今、求められている。道路については劣化が激しく、生活道路においても車椅子での通行や、高齢者や小さな子ども達の歩行が困難になっている。

また、福祉総合センター



老朽化が進む福祉総合センター

【答】道路の維持補修については、地域防災計画に緊急交通路として位置づけられた路線のうち、特に老朽化の激しい部分について、国の交付金を活用し、5年で修繕していく。

福祉総合センターは、平成28年度中の竣工に向け、施設の機能や規模、事業スケジュールなどをまとめた基本計画を25年度中に策定していく。

2人の議員が
一般質問

【問】丘陵地区は、都市整備エリア、農整備エリア、自然保全エリアに区分しているが、土地利用

グラウンドゴルフ場の整備で
新たなにぎわいを

西田 武史 議員

【問】少子高齢化社会の進展に伴い、グラウンドゴルフの競技人口が年々増加している。

こうした状況ではあるが、愛彩ランドには、多くの来場者があり、丘陵地区は市のアピールに絶好の場所であるため、地元地権者などと協議しながら検討していきたい。

が定まっている自然保全エリアへの立地が考えられる。

【答】丘陵地区は、都市整備エリア、農整備エリア、自然保全エリアに区分しているが、土地利用

【問】丘陵地区は、都市整備エリア、農整備エリア、自然保全エリアに区分しているが、土地利用

議会中継を
ご覧ください!

◆再放送
6月22日(土)
6月23日(日)

◆生中継
6月18日(火)
6月19日(水)

第2回定例会の本会議での議員の質問などの様子をテレビ岸和田で中継します。放送は次のとおりです。